

5歳児健診のお知らせ

健診では、集団活動でのなじみにくさなどに、まわりの大人が早くから気づき、こどもの姿の理解を深めます。

まわりの大人が、長所や得意なことに着目しながら対応することで、こどもが自信をもって就学することをめざします。

だれが対象？

実施年度に満5歳
(4歳児クラス)に
なるお子さんです。

どこでするの？

在籍の幼稚園や
保育所(園)などで
行います。

何をするの？

集団活動での姿と
個別でお子さんとお
話をする様子を観察
します。

その後は？

お子さんが自分の
個性を生かして
力を発揮できる
サポートを行います。



※市内公私立幼稚園・保育所(園)・認定こども園に在籍されていない方については、市内公共機関で実施します。

保護者が安心して子育てのできる機会として鈴鹿市医師会や園と鈴鹿市が連携し、5歳児健診を実施しています。健診後の相談や支援も行っています。お気軽にご相談ください。

<問い合わせ先:鈴鹿市こども家庭支援課 059-382-9030>

5歳児健診についてのQ & A

Q：「5歳児健診」は、どのようなことをするのですか？

A：問診票や健診当日の観察等を通して、お子さんの集団へのなじみにくさや苦手さに早く気づき、適切な支援を行うことを目的とする健診です。

集団活動と個別のやりとりの場面で、①大人からの働きかけを受け入れ、応じる力、②人とかかわる力、③ことばの発達、④運動の発達、⑤緊張や不安なく対応する力、の5つをポイントで、心理士、教員、保育士、保健師等が観察します。

当日のお子さんの様子に加え、問診票の内容や日頃の保育の様子、乳幼児健診等の情報も含め、医師(園医)の監修を受け、結果をお伝えします。

☆結果票は、後日、保護者の方へ文書でお伝えします。

必要に応じて、保護者の方と面談も行います。

Q：なぜ5歳児クラスではなく、4歳児クラスのこどもが対象なのですか？

A：大きく2点あります。

【1】園生活を通してこどもの自信を深める支援を行うため

この時期は、就学までに約1年間あり、こどもの育ちにかかわる人たちが、適切な支援をしていくための期間を確保できます。

【2】こどもの発達段階に応じて

この時期のこどもたちは、友だちとのかかわりを求める時期であり、集団生活へのなじみにくさや苦手さに気づきやすくなるといわれています。

Q：健診を受けることで、発達が遅れていると言われるのではないかと心配です。

A：この健診は、病気の診断や障がいを特定するものではありません。
お子さんへの理解を深め、日常の園生活等に生かすためのものです。

Q：健診後は、どのような支援を受けられるのですか？

A：健診後は、園や小学校と連携し、お子さんの成長にあった適切な支援の方法を考え、取組を進めていきます。小学校入学の際に引継ぎ支援会議を実施し、支援を引き継ぐこともできます。

また、「すずっこスクエア」は、お子さんには、集団での遊びを通して人とやりとりをする方法を学び、社会性を身につけていただく場として、保護者の方には、お子さんのことを気軽に相談できる場としてご利用いただけます。

保護者の方のご心配なことや、家庭での関わり方等の相談に応じます。